

創 立 昭和32年4月19日  
 会 長 菅 生 康 清  
 会長エレクト 高 橋 靖  
 副 会 長 長 谷 川 博 章  
 幹 事 下 辻 眞 人  
 広報会報記録 中 野 利 昭



2018-19年度 地区スローガン  
**ロータリーを学び、実践し、発信しよう； Enjoy Rotary**

事務局（例会場） 例会日  
 榎原市久米町 652-2 毎週金曜日  
 DAIWA ROYAL HOTEL THE KASHIHARA 4F 12時30分～13時30分  
 TEL/0744-28-2801（直通）  
 FAX/0744-28-2802  
 E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp Vol.62 No.17 (2018-19)  
 TEL/0744-28-6636（ホテル） 2018(平成30)年11月9日発行

**11月は、「ロータリー財団月間」(Rotary Foundation Month)です。**

**第3000回例会報告書**

2018（平成30）年11月2日

司会 副SAA・辻田真海会員  
 R.song 君が代・奉仕の理想  
 ソング・リーダー 尾田肇睦会員  
 ピアノ奏者 廣畑弥生さん

**ゲ ス ト**

卓話講師：薬師寺 長老 山田法胤氏  
 米田美喜様・野口勝子様・増田敬子様  
 榎原 RAC 会長 的場崇文さん  
 米山奨学生 グェン レ・アンさん

**出 席 報 告**

正会員 46名  
 (11/2) 出席者 35名 出席率 87.50%  
 (10/19 補正) " 34名 " 89.47%

**ニ コ ニ コ 箱**

- ◎榎原 RC 3000回例会開催、おめでとうございます。  
 ……山田法胤様
- ◎3000 回記念例会を皆様と共に祝えることを嬉しく  
 思います。 ……菅生康清会員
- ◎記念すべき 3000 回例会を幹事として迎えることが  
 できました。とても良い幹事（感じ）です。  
 ……下辻真人会員
- ◎3000 回例会にて表彰頂き、ありがとうございます。  
 思い出一杯、感謝致しております。  
 ……里田 好会員
- ◎3000 回記念例会に。 ……中井康允会員
- ◎3000 回記念例会に家内共々お世話になります。  
 ……野口洋司会員
- ◎3000 回例会、おめでとうございます。柳田のサヨナ  
 ラホームランでソフトバンクホークス王手です。一  
 氣に決めましょう。 ……米田常彦会員
- ◎第3000回記念例会 祝！ ……吉村輝高会員

- ◎誕生日お祝い  
 里田 好会員 (11/14) 中野利昭会員 (11/8)  
 藤岡宏章会員 (11/24) 吉田浩巳会員 (11/30)  
 速水正明会員 (11/13) 豊田博樹会員 (11/6)
- ◎結婚記念日お祝い  
 鍵岡正隆会員 (11/7) 永田晶三会員 (11/8)  
 森川善隆会員 (11/12) 藤岡宏章会員 (11/15)  
 尾田肇睦会員 (11/18) 吉村輝高会員 (11/18)  
 速水正明会員 (11/22)

**会 長 挨 拶**

- 会長にならせて頂き、4ヶ月が過ぎた。先週はガバナー公式訪問があり、皆様のご協力のお陰で無事に終えることができた。前半の大きな行事を一つ終えることができ、嬉しく思う。これからまだ3分の2の長い道のりがあるが、是非とも皆様にご協力頂き、スムーズな運営をお願いしたい。
- 先週 27 日（土）にガバナー杯野球大会が京都の宇治で開催された。野球同好会 10 名が集まり、優勝候補の京都南 RC と対戦した。前回は完封負けでコテンパンにやられたが、今回は初回から3点を取り良いスタートを切った。多少の不運があり結果的には負けてしまったが、かなりの手ごたえがある試合ができ、おそらく来年の甲子園での全国 RC 野球大会に繋がる良い試合ができたのではないかと喜んでいる。
- 明日 3 日（土）には又一球場にて榎原 RC 杯学童野球大会決勝戦が行われる。現在のところ会員は5名程度の参加で、ちょっと少ないと思うので、明日お時間のある方は是非とも球場にお越し頂きたい。決勝戦は午後3時から、表彰式は午後5時から行う予定。一人でも多くの方にご参加頂き、子供達にメダルをかけて彼らの健闘を称えてあげてほしいと思う。





## 幹事報告

△中川基成ガバナーより公式訪問のお礼状

※詳細は掲示板にて。

△地区より、2000-01年度ガバナー 山崎時雄様の「お別れの会」のご案内 ※詳細は掲示板にて。

△例会変更ほか（詳細は掲示板にて。）

・やまと西和 RC

①11月6日（火）休会 ※ビジター受付なし。

②11月20日（火）家族親睦例会の為、変更

→11月18日（日）於：京都方面

※ビジター受付は11月20日（火）12:00～12:30

まで、まさごビル1階にて。

③12月11日（火）青少年奉仕事業の為、変更

→12月9日（日）15:00 於：まほろばホール

※ビジター受付は12月11日（火）12:00～12:30

まで、まさごビル1階にて。

④12月25日（火）・1月1日（火）・1月8日（火）

→休会 ※ビジター受付なし。

⑤1月15日（火）新年家族例会の為、変更

→1月19日（土）於：京都方面

※ビジター受付は1月15日（火）12:00～12:30

まで、まさごビル1階にて。

・奈良 RC

11月22日（木）休会 ※ビジター受付なし。

## 卓話

担当：親睦活動委員会

講師：薬師寺 長老 山田法胤氏



### 「歴史から学ぶ日本のこころ」

「かたよらない心。こだわらない心。とらわれない心。  
広く広く、もっと広く。これが般若心経、空の心なり。」

私も奈良 RC に 20 年ほど在籍していましたが、今はもう引退し、懐かしい思いでゴングやソングを聞いていました。菅生会長のお父様と JC 時代一緒に活動しており、非常に懐かしく、また私の少し先輩になられます中井さんも在籍されており、そんな中で3000回目の例会という記念すべき日に卓話講師にお呼び頂き、大変光栄に思い、喜びを感じております。

橿原は歴史の故郷のような場所ですから、「歴史から学ぶ日本のこころ」という題を付けさせて頂きました。

「願心」という言葉は仏教で使う「願い心」ということで、目的を持つことを願心と言います。目的のない生き方をすると悪魔のような心が起こって間違いを起こす。立派な人でも教養のある人でも目的を間違うととんでもない方へ行ってしまうので目的を持つことが大事だということを最初に申し上げて、その目的は何なのかというと、レジュメの最後にお釈迦様の歌を載せていますが、「与える人間」になることを人生の目的にして頂ければよいと思います。

「喜んで与える人間となろう。ものが有ればものを、力があれば力を、知識があれば知識を、なければ自分の中に育てて与えよう。花は美しきをおしまず、小鳥は楽しい歌声をおしまず、誰れにでも与えている。与える時、心は豊かになり、おしむ時、心はまずくなる。喜んで与える人間となろう。」

ロータリーの精神も、突き詰めると与えることが大事だと思いますが、昨今は与えるというよりもアメリカのトランプ大統領の「アメリカファースト」をはじめ、自分の国が良ければいいという風潮になってきていることが少し怖いと感じています。

私達の宗派は法相宗という古い宗派です。どのような教えなのかと言いますと、心を大事にしている教えです。私達は今、物さえあれば幸せになるとか、お金があれば豊かになると思っていますが、物やお金があっても心が豊かでないと豊かになれないのです。例えば「手を打てば はいと答える 鳥逃げ 鯉は集まる 猿沢の池」という歌があります。猿沢池のところで手をたたくと、女中さんはいと答え、屋根に止まっている鳥は逃げ、池の鯉はエサをくれると思って集まってきた。ただ一つの手の音ですが、聞いている心によって受け取り方が違ってくるとことを歌にしたのです。今、私達人間はマスメディアなどで世界のいろいろな情報が入ってきますが、心が豊かでないと、とんでもない聞き方をしてしまっ、とんでもない疑いを持ったり、どれだけ素晴らしいものを発明してノーベル賞をもらっても、戦争の道具に変わっていったり、このようなことは全部心がそういう方向へ行く訳です。そこで心が大事だということなのです。それをわかりやすく言えば、ドラえもんポケット。ドラえもんポケットは何でも出てきます。心はそういう面も持っています。その心を仏教的に言うと十あります。地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上・声聞・縁覚・菩薩・佛。この十個を十本の指になぞらえて、十本の指をそろえると心一つになるということを表しているのが合掌、手を合わせるという世界共通の形です。

今日お話し申し上げたいのは、日本はどこから始まったのか。文化としては伊勢の天照大神様から始まっていると言われています。平安時代に西行法師というお坊さんがいました。五十鈴川にかかっている宇治橋のところで「なにごとの おはしますかは知らねどもかたじけなさに 涙こぼるる」という歌を詠んでそこからは入らなかったそうです。電柱や電線が一本もな

い深淵な森に囲まれている環境を見て、世界の人が「日本という国はすごい」と驚くそうです。その「お伊勢さん」を今のような形で祀り、儀式をするようになったのが40代目の天武天皇、持統天皇の時です。ちなみに現在の天皇は125代目です。10代目の崇神天皇の時に疫病が流行り、どうしたらいいかというときにお告げがあり、天皇家に祀っている神様を外にお出しし、その神様に祈ることで疫病をしずめようと祀り出したのが三種の神器「八咫鏡・剣・勾玉」です。その場所が三輪山の麓にある檜原神社で、「元伊勢」と言います。神様や仏様を祀るとお給仕やお接待、お供え物をしますから、その役目をする人を、天皇の皇女が始めたのです。次の11代目の垂仁天皇の娘にヤマトヒメがいました。ヤマトヒメがお給仕をしていると、天照大神様のご神体が「この場所ではなく違う場所に祀ってほしい」とお告げがあったそうです。そこでご神体を持って旅をされました。初めに滋賀県に行かれた時、天照大神様が良くと仰らなかつた。次の岐阜県も違うと仰られ、三重県に入って伊勢に行くと、ここが私が住むにふさわしいと仰られたので、お社を建て、今の伊勢神宮ができました。伊勢神宮の関係の神社は125あります。なぜこんな話をするのかと言いますと、これからの時代の中で大事なことは、エネルギーを何にするかということを経験から考えていくべきではないかと思ひます。今、世界でエネルギーを出しているのは地下資源で、地下資源は地下に眠る化石をエネルギーにしています。日本は何をエネルギーにしているかという、天照大神様は地下資源ではなく、繰り返し繰り返し自分で育てていくものをエネルギーにしたい、稲つまりお米でもって日本人は生活をしていくなさいと。これから地下資源のエネルギーを頼るか、植物というか繰り返し作っていくものを頼るか、大きな課題かと思ひます。更更新性の資源を作るためには何が必要か。東南アジアでも稲作をしています、だいたいが焼畑農業です。日本の農業は連作です。同じ所で毎年作物がとれる。しかもそのお米は1500年の歴史の中でどんどん更新され、今や北海道でもおいしいお米が作られています。また、だんだんとたくさん収穫できるようになり、どんどん努力していく。その間に日本という国の民族の考え方、国柄が変わっていく。今皆さんは国柄をほとんど忘れていると思ひます。これから日本人は少子化で人口が減り、外国の人達も受け入れ、これから何年か先には他民族になっていくでしょう。日本人は勤勉で、外国から教わったものも努力して使いやすい便利なものにし、独特の日本の力にしている。まさに更新させていく能力を持っていることを、お伊勢さんの稲穂の文化からきていることを覚えておいて頂きたいと思ひます。

「我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」これは画家のゴーギャンが描いた絵の題名です。2番目の「我々は何者か」について皆さんに考えてほしいと思ひます。地球上でこんなにわがままな生活をしているのは人間だけです。我々は全ての生き物の命を頂戴し、ありとあらゆるものを利用して、

自分達が幸せな生活をするために地下資源を掘り出して、そして生み出しているのは公害です。今世界中でハリケーンや台風が大きな被害をもたらしています。人間が勝手に便利なものを作ってきた成れの果てのものが公害を生み出しているのではないのか。我々は一体何者なのか。地球を壊してもいいのかというところまで来ていると思ひます。江戸時代に良寛というお坊さんが「形見」という歌を詠んでいます。「形見とて 何か残さむ 春は花 夏ほととぎす 秋はもみじ葉」私は誰でも残せるものだと思ひていました。何もなくても春に花は咲くし、夏にはほととぎすがなく、秋にはもみじが紅葉する。ですが今、空気は汚染され、今年の夏も40度近い気温で、春は春らしく、夏は夏らしくというものがなくなってきています。自然が自然のまま訪れてくれるような環境を残していくためにはどうすればいいかを考えていくと、地下資源だけに頼って開発していることが良いのかどうかということが課題ではないでしょうか。先ほどお話しした更新性のお話や、天照大神様が孫のニニギノミコトに日本を稲作国家にしたいと稲を渡し、その稲で農業を改良して世界のどのお米よりもおいしいお米がとれる日本で、これからどういう向き方をしていくかを考えるべきではないでしょうか。

「我々はどこに行くのか」というと、土に還っていきます。しかし還るところのお墓がなくなってきています。墓じまいをする人が増えると、海やその辺に捨てられてしまう時代がくるかもしれせん。火葬場でお骨になった後、親族が持って帰らなかつたり、取りに来ないということがあるそうです。また、電車の網棚に忘れていたりして、鉄道会社も困っているそうです。そうすると、我々はどこに行くのか分からない時代がやってくるかもしれせん。

今日は「こころ」についてお話ししていますが、こころは耕さなければなりません。「心」は心臓を表す象形文字です。仏教では「識」と書いてこころと読みます。皆さんは生まれてから今日までいろいろなことを経験、体験します。それらが積み重なって、物を見る時に「これは良い・悪い、価値がある・ない」などと仕分けしていくのは、こころの認識でしているのです。ですから一人一人の価値観が違ってくるのです。皆さんが今日まで認識してきたものが価値観を決めているのです。こころは田畑のようなもので、耕していかなければなりません。奈良時代から3つの耕す方法があります。一つは天地の力を敬うこころです。天地が勝手にあると皆思っていますが、天のお陰で晴れる、雨が降ると思うのが敬田です。田畑を耕すと天地のお陰だといひ、空気や大地を汚さないようにするこころが生まれてくる。そういうこころを小さい時から耕しておくのです。二つ目は恩田です。親や先生へ感謝するこころです。最近では感謝したり恩を感じる気持ちがなくなっているものですから、子供達は感謝もしないで当たり前のように思っているような学校教育になってきたり、親を殺したりするようになってくるのです。もう一つは悲田です。障がいがある人、病氣の人、貧しい人、困っている人



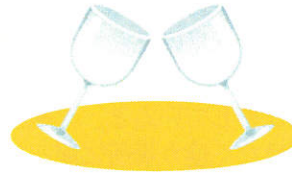
に思いやりのこころが生まれてくることを悲田と言います。この3つを三福田と言ひ、これを耕すと物の捉え方が変わってくるのです。こころを耕すと素晴らしいことができます。ロータリアンも仲間を作って懇親を深め、紳士的なお付き合いをしながら、こころを耕していく、週に1回集まり、お互いを切磋琢磨していくことがロータリーの意義だと思ひます。

次に、レジュメの真ん中に「日本の文化史」とあります。「ゆくとして 華嚴・三論・法相と 雨のいとまを 招提に在る」「華嚴」は華嚴宗で、大本山は東大寺です。「三論」は三論宗ですが、三論宗を名乗っているお寺は今はありませんが、三論宗を研究していたお寺と言えば法隆寺や元興寺です。法相宗は先ほどお話したように薬師寺と興福寺です。「招提」は唐招提寺のことで、律宗のお寺です。中国の鑑真が建てたので「唐」を付けています。これらのお寺が奈良時代に建てられたのですが、先ほどの歌はたった31文字ですが、これで奈良のお寺のほとんどを回ったということが分かる訳です。この歌を詠んだのは会津八一という歌人です。新潟の生まれで、奈良を愛し、「鹿鳴集」という歌集を作りました。「鹿鳴集」に自ら注釈を加えた「自註鹿鳴集」もあり、お寺の歴史を書いて歌を詠んでいます。法華寺なら「藤原の 大き后をうつしみに あひみるごとく あかきくちびる」十一面観音像が光明皇后をモデルにして作られたのでこのような歌を詠みました。光明皇后はもともと藤原氏の一族でした。藤原氏は飛鳥で生まれて奈良へ行き、奈良の平城京を作られました。645年の乙巳の変や大化の改新あたりで、日本という国がほぼ日本らしくまとまってきます。その時に中大兄皇子が相談した人が中臣鎌足で、鎌足の子が藤原不比等です。藤原不比等という人が藤原京を奈良の平城京へ移したのです。そして藤原不比等の娘が光明皇后で、45代目の聖武天皇のお妃になられた方です。聖武天皇の曾祖父にあたる天武天皇が古事記と日本書紀の編纂を命じました。その日本書紀の中に、「家ごとに仏舎を祀り、仏地経論を安置しなさい。国ごとに仏舎を祀り、仏地経論を安置しなさい」とあります。そこで作られたのが国分寺です。国分寺は全国に67作られ、その最後に国分寺の総まとめとして68番目にできたのが奈良の大仏様です。そして聖武天皇と共に国分寺と大仏様を建立したのが行基というお坊さんです。大仏様が完成した時にはもう亡くなられていたのですが、行基さんが建てられて亡くなられたお寺が、今私が復興しようと頑張っている、薬師寺の末寺である喜光寺です。行基さんが作られたお堂をモデルにして作ったのが東大寺の大仏殿です。いわば喜光寺が東大寺のモデルになったお寺なのです。今、そのお寺を復興しようと頑張っています。高田好胤という大先輩から復興するにはお写経が良いと言われ、写経をすることになりました。薬師寺は般若心経の写経をし、お陰様でずいぶん立派に復興できました。しかし、薬師寺が般若心経のお写経をしているので違うお経にしなさいと言われ、考えた結果、いろは歌をすることにしました。いろは歌の原点はお釈迦様の悟りなのです。写経

をして送って頂きましたら、お寺でお参りをして皆さんのお写経を永遠に保存し、お祀りしていきます。最後をお願いをして、卓話を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

## 乾 杯

【奈良県第2グループ  
ガバナー補佐  
増田善昭会員】



## 最多例会出席者表彰

### 【第3位：里田 好会員】

一言挨拶を、ということで少しお話させていただきます。私は籍は置いていますがあまり出席していないのでとても3000回には遠く及びませんが、このように表彰して頂き、大変僣越でございます。ありがとうございます。



### 【第2位：榎谷龍昌会員】

本日、当クラブが始まって3000回目の例会を開催して頂きましたこと、クラブにとっても我々にとっても誠に祝着に存じます。当クラブは昭和32年から60年余りの間にいろいろな経験をして今日に至っていると思います。いろいろなことがありましたが、お陰様で本日を迎えることができましたのは誠に結構なことだと思います。我々はクラブに対しては大した貢献をあまりしておりませんが、何とか今日を迎えることができ、感謝しております。伝統と歴史がある橿原RCでございますので、この3000回を一つの節目として、これからも次の目的を持って、次の節目に向かって、皆様のご尽力でどうか末永く育てて頂きますことをお願いして挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



### 【第1位：野阪 洋会員】

私がこのクラブに入会させて頂いたのは36歳の時です。いつの間にか多数の例会を出席したことになります。それはまず私が健康であったこと、そして家族



の支えがあったからと感謝しております。しかし本当は例会が楽しく、また魅力があったからとっております。その頃の会員の内には、医大の教授の先生方 5名、開業医の先生方 10名、薬剤関係の方々 8名、植林業の方々 13名、他の業種の素晴らしい方々等おられました。それ故、今日はどんな卓話が聞けるのかな、またあの方にこんなことを教えて頂こうとかで毎回出席できたと思っております。今、私の身体の中で、それらのことが脈々と生きております。



## 祝！3000回記念！ くす玉開被！



さて、私もその当時の先輩方々の年齢になってきました。果たして人として内容のある人間になっているのだろうかかと自問しているところでございます。例会は共に研鑽できる場所であると思っております。今後ともよろしくご指導賜りますようお願い致します。ありがとうございました。



2018年11月6日（火）奈良新聞

檀原ロータリークラブ（菅生康清会長、46人）は2日、創立以来3千回目を迎えた例会を、檀原市久米町のホテル「THE KASHIHARA」で開いた。同クラブは昭和32年4月19日に創立。翌週から毎週、例会を行ってきた。同日は開会后、菅生会長らがくす玉を開

檀原

檀原ロータリークラブ例会

3000回



3000回目の例会であいさつする菅生会長＝2日、檀原市久米町の「THE KASHIHARA」

創立61年、積み重ね

祝いのくす玉や記念卓話

いて3千回の節目を祝った。記念卓話には

山田法胤薬師寺長老を招き、「歴史から学ぶ日本のこころ」がテーマの講話に聞き入り、菅生会長は「例会を3千回も積み重ねてくれたのは、携わったすべての会員の尽力のおかげ。世の中は変わるが、その伝統をこれからも大切にしていきたい」と話した。







# 第10回榎原ロータリークラブ杯学童野球大会



大会日程  
 10月13日(土)～3日(土・祝)  
 開会式  
 10月13日(土)  
 於：佐藤薬品スタジアム  
 閉会式  
 11月3日(土・祝)  
 於：又一球場

試合結果  
 優勝 疋田ボーイズ  
 準優勝 大淀ブルーサンダース



## 【例会ご案内】

11月16日(金)《第3例会》  
 担当：高橋 靖会員

11月23日(金・祝)  
 休会

11月30日(金)《第4例会》  
 やまと西和RC米山奨学生 諸 昭喜氏  
 担当：プログラム委員会

12月7日(金)《第1例会》  
 担当：永田晶三会員

12月14日(金)《第2例会》  
 望年親睦家族会  
 担当：親睦活動委員会

## 【同好会】

書道同好会

11月16日(金)・11月30日(金)  
 12月7日(金)・12月21日(金)  
 午後2時～ 於：4階 楓の間  
 ※10月19日(金)のみ4階 橘の間

## 【RAC 例会】

[榎原オークホテルにて、午後8時～9時15分]  
 11月11日(日)《第1例会》  
 奈良ゾーン合同例会「秋のスポーツ大会」  
 9:00 受付開始、9:30 開会点鐘、11:45 閉会点鐘  
 於：奈良県営福祉パーク 福祉住宅体験館2階

11月21日(水)《第2例会》  
 財務①

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。